

平成27年第1回定例会 議事録から抜粋(平成27年3月23日)

予算特別委員会委員長(堀本博行君)

予算特別委員会は、去る3月4日第1回市議会定例会本会議において付託を受けました議第8号平成27年度別府市一般会計予算ほか、予算関係議案8件、及び議第19号特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、ほか、条例関係議案10件の計20議案について審査をするため、3月11日、12日の2日間にわたり委員会を開会し、会派代表者質問並びに個人質問において、質疑による慎重な審査を行いましたので、当委員会での意見と審査結果について御報告を申し上げます。

まず、議第8号平成27年度別府市一般会計予算についてであります。

最初に、自主財源の確保についてであります。当市の歳入における国県支出金、地方交付税などの依存財源は、高い割合にあります。平成27年度の予算編成においても依存財源の割合が高く、市税等の自主財源の確保が緊急の課題だと考えます。

今後、人口減少・超高齢社会を迎えるに当たり、総合戦略を策定する中で、自主財源が確保できる施策を進めるべきと考えます。

次に、補助及び交付金についてありますが、昨年の決算特別委員会において、各団体等に対する補助金等の交付に係る成果を示すことで、透明性の確保と費用対効果の向上が、決算認定の附帯決議として議決をされました。補助金等の交付目的は、公益に資することであり、団体の自立により市民との協働が促進され、真に人材の育成や成果が上がるべきものと考えます。

今後、別府市協働のまちづくり推進条例の施行に伴い、「推進委員会」においても議論していただき、より有効的な補助金制度を確立すべきものと考えます。

次に、健康寿命を延伸する取り組みについてであります。

人口減少・超高齢社会の到来により、より厳しい財政運営が迫られる中で、高齢者の健康づくりを推進する取り組みを、行政の最重要施策と位置づけ、全庁的な推進体制のもとであらゆる行政資財を活用し実施すべきものと考えます。

次に、民生委員・児童委員に対する取り組みについてありますが、ひとり暮らしの高齢者の増加や青少年問題が複雑化する今日、民生委員・児童委員の職務が増加傾向にあります。県に増員を求めるとともに、職務の整理を行って、委員の負担軽減に努めるべきと考えます。

次に、中心市街地活性化に対する取り組みについてであります。

旧近鉄跡地については、活性化計画において、民間施設の核と位置づけられ

ています。その活用については、土地所有者等と十分協議をする必要があると
考えます。

また、まちなか交流会館については、国際交流プラザの移転や別府インター
ナショナルプラザとの協働も視野に入れ、有効活用を図るべきと考えます。

次に、観光に対する取り組みについてであります。

インバウンド時代を迎えるに当たり、外国人旅行者の受け入れ体制として、
インフォメーション機能を高め、質の高いサービスを提供することが必要と考
えます。

次に、公共施設に対する取り組みについてです。

市営温泉において慢性的な赤字経営の施設は、利用者負担のあり方も踏まえ
て抜本的に管理運営を見直さなければならぬと考えます。

また、野口原陸上競技場並びに実相寺多目的グラウンドについては、ラグビ
ーワールドカップ開催も見据えて、施設整備を検討すべきと考えます。

また、施設整備に関しては、利用団体と協議の上、年次計画を持って行うべ
きと考えています。

次に、人と猫が共生するまちづくりに対する取り組みについてであります。

事業実施に際しては、活動グループが核となると思われます。環境美化が最
大の目的であり、住民トラブルがないように、制度の周知徹底を図る必要があ
ると考えます。

次に、合併浄化槽に対する取り組みについてであります。

現行の公共下水道事業の発展的継続は厳しいと考えます。公共の合併浄化槽
への政策転換を早い段階で図るべきと考えます。

次に、学校いきいきプランに対する取り組みについてであります。

近年、特別な支援が必要な児童が増加傾向にあり、その対応が求められてい
ます。教育現場での声を十分に聞いて、素早い対応で取り組むべきと考えます。
また、その現状と必要性を国・県に積極的に伝えるべきであるとも考えており
ます。

次に、議第9号平成27年度別府市国民健康保険事業特別会計予算、並びに議
第14号平成27年度別府市介護保険事業特別会計予算については、健康寿命を
延伸する取り組みを積極的に実施することが、医療費等の抑制につながり、財
政の健全化に資すると考えます。

次に、議第16号平成27年度別府市水道事業会計予算についてであります。

人口減少・高齢化により、水道事業も厳しい時代を迎えます。水道局と市長
部局の財政状況を総括的に考え、相互連携の上、適切な負担による経営基盤の
強化を図り、経営の健全化を促進すべきと考えます。

以上、多くの意見がなされたのに対し、採決の結果、議第8号平成27年度別

府市一般会計予算、議第9号平成27年度別府市国民健康保険事業特別会計予算、議第10号平成27年度別府市競輪事業特別会計予算、議第12号平成27年度別府市公共下水道事業特別会計予算、議第14号平成27年度別府市介護保険事業特別会計予算、議第16号平成27年度別府市水道事業会計予算、議第19号特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、議第33号別府市介護保険条例の一部改正について、以上8件につきましては、一部委員から反対の意思表示がなされましたが、賛成多数をもって原案のとおり可決をした次第であります。

続きまして、議第11号平成27年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算、議第13号平成27年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算、議第15号平成27年度別府市後期高齢者医療特別会計予算、議第20号特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について、議第21号別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について、議第22号別府市職員の退職手当に関する条例及び別府市立学校職員の退職手当に関する条例の一部改正について、議第24号別府市手数料条例の一部改正について、議第25号別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について、議第26号別府市重要文化的景観整備事業分担金徴収条例の制定について、議第28号別府市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について、議第32号別府市国民健康保険税条例の一部改正について、議第42号別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について、以上12件につきましては、全会一致で原案のとおり可決すべきと決定をしたところであります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案20件に対する意見と審査結果の報告を終わります。

議員各位の御賛同をお願い申し上げます。